

第31回 経営研究フォーラム

メイン
テーマ

今だ！変化を進化に！！
～同友会理念の実践で社員と共にワクワク～

日 時

2021年11月8日(月) 13:00～20:00 (受付 12:30)

会 場

【分科会・基調講演・懇親会】沖縄産業支援センター・ZOOM (那覇市字小禄 1831-1)
【分科会】ロワジールホテル那覇・ZOOM (那覇市西 5-2-1)

内 容

第Ⅰ部「分科会」(13:00～16:30) ※分科会の詳細については、中面を参照ください。
第Ⅱ部「基調講演・分科会報告」(17:10～18:50)
第Ⅲ部「懇親会」(19:00～20:00) 懇親会費 | 2,000 円

第Ⅱ部 基調講演 (17:10～18:30)



講 師

江本手袋株式会社
取締役
江本 昌弘氏
(香川同友会)

瀬戸内バレアリック経営 ～労使見解における人間性の回復とは～

【会社概要】

会 社 名：江本手袋株式会社	年 商：2,400 万円
所 在 地：香川県東かがわ市引田 2724	資 本 金：200 万円
創 業：1939 年	社 員 数：役員 2 名＋社員 3 名（パート 1 名）
設 立：1956 年	事業内容：手袋やマフラーなどの製造と販売

【講演要旨】

同友会に入会し、地場産業である手袋と自社の歴史、自身を改めて振り返り「人らしく生きるものづくりで喜び合える地域社会を創る」ことが江本手袋の理念であり使命だと気付く。コロナ禍でも「人らしく生きるものづくり」を貫き“物作りの責任”と“手袋職人を守り育てる”ことに取り組むなかで、労使見解の「人間性の回復」と「日本のブルネロクチネリ」というビジョンに確信を持った。
※瀬戸内バレアリックとは、江本氏自身が大切にしているマインドです。経営理念を追求する過程で、先人が築いてきた地域文化そのものがそのマインドだと確信し、地域と一体となった経営を行っています。

【プロフィール】

小学校 6 年の時に聞いたロカビリーに衝撃を受け音楽大好き少年になる。大学を中退し 22 歳で江本手袋に入社。当時は「手袋は仕事、音楽は趣味」別のものだと考え、仕事は「楽しくないもの」だった。2016 年に売上の 8 割を占める取引先が倒産。地元の取引先から支援を受けて経営再建に取り組み、初めての自社ブランド「佩（ハク）」を立ち上げ、手袋と音楽の融合に手応えを感じる。
2019 年香川同友会（東讃支部）へ入会し、経営指針書の作成に取り組んだことで自分も社内も変わり始める。コロナ禍の危機を経営指針の実践によって乗り越えて、自社のビジョン「手袋職人の聖地」と、事業ドメイン「喜び合いエンタメ業」に確信を得て奮闘中。

主催：沖縄県中小企業家同友会

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄 1831 番地 1 沖縄産業支援センター 603 号 TEL 098-859-6205 / FAX 098-859-6208
E-mail: doyu@okinawa.doyu.jp URL http://www.okinawa.doyu.jp

同友会の 3 つの目的

1

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

2

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3

同友会は、他の中小企業団体とも連携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。



実行委員長挨拶

座安 孝明 (有)ライズ 代表取締役
(沖縄同友会 浦西支部長)

昨年から今年にかけ、新型コロナウイルスの感染拡大が止みません。観光業や飲食業だけでなく、あらゆる業態に影響が出ています。不安を抱き悩んでいる経営者も多くいるのではないのでしょうか。

こんな厳しい状況だからこそ同友会の本領が発揮されたいと考え、今年の経営研究フォーラムのメインテーマは「今だ！変化を進化に！！～同友会理念の実践で社員と共にワクワク～」としました。

「人を生かす経営」「社員と共に発展」という考えのもと、さまざまな苦難を乗り越えてきた先輩方から学ぶチャンスです。社会が 1 日も早くコロナ禍から脱却することを願い、学び合い、援け合い、切磋琢磨しながら、コロナに打ち勝つ強靱な経営体質づくりを考え、不安を解消し、共に勇気と希望を掴みましょう。

同友会型企业 (21 世紀型企业とは)

第一に、自社の存在意義を改めて問い直すとともに、社会的使命感に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準で応えられる企業。
第二に、社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあい、高まりあいの意欲に燃え、活力に満ちた豊かな人間集団としての企業。

開催意義

沖縄同友会で、最も大きな学びの場として位置付けているのが、毎年秋に開催している経営研究フォーラムです。経営研究フォーラムは、支部・部会の例会と比較して①全県レベルで広く学び合い、質の高い学びの場とすることができる、②準備過程における課題設定のための議論の積み上げ、共同作業が会活動の前進に貢献する、③グループ長の養成を通して「学ぶ力」を高め、活動に積極的な会員を生み出す、④自治体、金融機関、マスコミなど対外的にもアピールできる、⑤仲間づくりに役立つという特徴があります。

昨年度より、経営研究集会をグレードアップし、名称を経営研究フォーラムとして、規模・内容で例会の醍醐味を感じる、一年の一大イベントとして取り組みます。また、各支部・部会の交流の場としても内容を充実させ、会員の参加率 30% を目指し準備を進めます。



※できるだけ、公共交通機関の利用や乗り合わせ等のご協力をお願いします。

申込締切 / 2021年11月1日(月)

※11月2日以降のキャンセルは、懇親会費全額をご負担いただくことになりますので、ご注意ください。
※懇親会費のお支払方法：当日、現金にて申し受けます。

会員以外の方・申込から本番までの流れ

(会員さんは e.doyu・下記の申込書からお申し込みします)

《事前》
一、右記の URL か QR コードにアクセス 会員以外の方は **こちら QR コードより**
一、申込者情報を入力する **11/8 開催日程にアクセス下さい ↓**

<https://okinawa.e-doyu.jp/s.event/showDetail.html?init&eid=746647>

(注意事項)

- ① 会場での参加の方は、備考に必ず「会場参加」と入力下さい。(ない場合は ZOOM 参加とします)
- ② 11/4 (木) に ZOOM の URL 等をメールで案内しますので、必ず事前に接続の確認を行ってください。



《当日》

- 一、定刻通りに開始しますので、12:30 には ZOOM をオープンします。

(注意事項)

- ③ 遅くとも開始 10 分前には PC で待機ください。
- ④ ZOOM 初心者の方は、ZOOM 上でのルール説明を事前に行いますので、早めに入室ください。

第31回経営研究フォーラム 沖縄県中小企業家同友会行 (必要事項をご記入の上、切り取らずにそのまま下記 FAX、メール、e.doyu にて申し込みください)

参加申込書

FAX : 098-859-6208 E-mail : doyu@okinawa.doyu.jp

連絡先 / TEL:

FAX:

ふりがな 参加者氏名	会 社 名	役 職	参加形態	参加分科会		参加形態
				第 1 希望	第 2 希望	
			☐ 第Ⅰ部参加 ☐ 第Ⅱ部参加 ☐ 第Ⅲ部参加 (2,000 円)			☐ ZOOM ☐ リアル (会場)
			☐ 第Ⅰ部参加 ☐ 第Ⅱ部参加 ☐ 第Ⅲ部参加 (2,000 円)			☐ ZOOM ☐ リアル (会場)
			☐ 第Ⅰ部参加 ☐ 第Ⅱ部参加 ☐ 第Ⅲ部参加 (2,000 円)			☐ ZOOM ☐ リアル (会場)

お問い合わせ / 沖縄県中小企業家同友会 TEL: 098-859-6205 〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄 1831 番地 1 沖縄産業支援センター 603 号

第Ⅰ部 分科会 (13:00～16:30)

第 1 分科会 (人生を生かす経営) パネルディスカッション

テーマ 人を生かす経営で、今こそ中小企業の強さと素晴らしさを示そう
～同友会の魅力と誇りを掘り起こす～

【報告概要】

沖縄同友会では、経営、共同求人、社員教育、同友会大学、健障者（障害者問題）の5つの委員会活動を「人を生かす経営」の活動と位置づけ、同友会型企業づくりを進めています。どんな時代になろうとも企業が存続・発展する最良の方法は、「人を生かす経営」の総合実践です。□で言うのは簡単ですが、その根底にあるものとは何か、どういう経営を指すのか、具体的に深く考えていただくパネルディスカッションです。

問題提起

中小企業家同友会全国協議会
障害者問題委員会
委員長 比嘉 糸み子氏



コーディネーター

NPO 法人ライフサポートてだこ
代表 友寄 利津子氏



パネリスト



(有)葬禮社
代表取締役 比嘉 良太氏
(経営委員長)



(株)琉球補聴器
代表取締役 森山 賢氏
(共同求人委員長)



マエダ電気工事(株)
専務取締役 真栄田 士郎氏
(社員教育委員長)



(有)仲松ミート
執行役員 仲本 和美氏
(健障者委員長)



(株)共栄環境
代表取締役 下田 美智代氏
(同友会大学運営委員長)

【会社概要】

設立：2002年10月
資本金：300万円
社員数：4名
事業内容：葬祭業

【会社概要】

設立：1987年11月
年商：6億円
資本金：1,600万円
社員数：41名
事業内容：聞こえの相談・補聴器販売・修理・メンテナンス・耳鼻科医療機器販売

【会社概要】

設立：1963年9月
年商：6億7千万円
資本金：2,000万円
社員数：38名
事業内容：企業のお客様への電気サービス事業と高圧保管管理業、国道照明の維持管理、国・沖縄県・那覇市などの公共工事

【会社概要】

設立：1990年
年商：1億5千万円
資本金：500万円
社員数：25名
事業内容：冷凍食品加工・惣菜加工
バーベキュー・山羊汁仕出し
加工品県内スーパーなどで販売

【会社概要】

設立：1972年6月
資本金：800万円
社員数：9名(パート1名)
事業内容：廃棄物回収、リサイクル業

第 2 分科会 (共育・人材育成)

テーマ お客様を裏切らない覚悟、営業マンから経営者へ
～チームづくりに近道なし！経営理念の策定と共有～

報告者

(株)りっぷる
代表取締役社長
福原 恵津子氏
(宮古支部幹事)



【会社概要】

設立：2012年
年商：7千万円
資本金：200万円
社員数：6名
事業内容：情報誌出版・HP運用

【プロフィール】

出身地：宮古島市
好きな言葉：現状維持は後退である
趣味：旅行・読書

【報告概要】

40歳のシングルマザー、子供三人、団地暮らしの福原氏は、観光関連情報誌の営業を担当していました。その頃、赤字続きだった宮古営業所を撤退するという話があがり、お客様を裏切る訳にはいかないと、自分が買い取ることを決意。売り上げは順調に伸び、掲載企業を120社から550社までに到達しますが、その中で、経営者としての知識と経験不足を痛感します。ある研修で「地元で起業したなら地元へ貢献しなさい」という言葉をいただき、社員と共に、自分自身も、会社も成長させようと考え方を逆転。地元に必要な会社、自律性・自主性を共に高め合える会社にすべく奮闘中です。

第 3 分科会 (事業承継・M&A)

テーマ 100年、200年続く事業承継 ～感謝からスタートした“志し”を貫く～

報告者

(有)ニヘーデービル
代表取締役社長
西平 守利氏



【会社概要】

設立：2003年6月
年商：2億1千万円
資本金：300万円
社員数：50名(パート・アルバイト含む)
事業内容：介護保険事業、障害介護サービス

【プロフィール】

出身地：那覇市首里
好きな言葉：チャンスの神様は前髪しかない
趣味：カラオケ

【報告概要】

100年続く企業、さらに200年ビジョンという壮大な夢を語る西平氏。約4年前、縁あって初めてM&Aで異業種を買収します。相談を受け即断即決でしたが、その手続きの過程で事業承継の難しさ、課題が見えてきます。創業者の想いや、社会に貢献できる会社をつくるために、何を目指し何を共有するのか。経営理念という揺らぐことのない志しを通し、夢を実現するためスタートしたプロジェクト。「ありがとう(沖縄の方言でニヘーデービル)」を社名にした初心から、弛まない経営への挑戦に学びます。

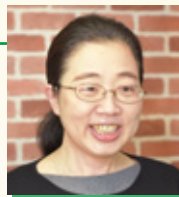
※分科会の会場は登録締切後、登録人数で決定しますので、決まり次第ご案内致します。

第 4 分科会 (経営指針)

テーマ 社員と共に歩み 経営理念の想いを地域へ広げる
～突然の事業承継で専業主婦から経営者へのストーリー～

報告者

(有)長門屋
代表取締役
笹林 陽子氏
(山形同友会／理事・女性部会長)



【会社概要】

創業：1911年
設立：1948年
年商：9,100万円
資本金：300万円
社員数：6名(内パート2名)
事業内容：仏壇・仏具・神具・墓石・和雑貨の販売・仏壇の修復

【報告概要】

専業主婦から突然、実家の経営に携わることに。不安な社員を前に何もできず悩んでいた時、同友会へ入会し、経営指針づくりから経営者の役割と責任を自覚します。社員と共に経営理念のもと、祈りのある暮らしの提案や敷地内に存在するモノやコトを地域の方々とながりながら生かす取り組みで、社風が変わってきた報告です。

第 5 分科会 (経営環境対応力・連携の力)

テーマ あなたの会社は生き残れますか？
～中小企業の役割と存在価値～

【報告概要】

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会情勢激変を踏まえ、新しい生活様式や従来にないビジネス、これまで気づけなかった新しい価値観が登場してきました。中小企業の日、条例の制定といった中小企業をとりまく社会的な経営環境を整備し、企業が実際にどのように商品やサービスの付加価値を高めたか、IT利活用による労働生産性の向上の取り組み等の事例報告です。社会変化に対応した新しい価値の創造とサステナビリティに対応した中小企業の真の存在価値を考えます。

報告者

問題提起

沖縄同友会
副代表理事 赤嶺 剛氏
(（有）スタプランニング 社長)



コーディネーター

オフィス星崎
社長 星崎 浩二氏
(政策委員長)



(有)沖縄北斗
代表取締役社長 大城 照政氏

【会社概要】

設立：1984年10月
年商：6億5千万円
資本金：1,650万円
社員数：20名
事業内容：畜産業
①アグー豚肉、生産→加工→販売
②堆肥生産、販売
③粗糞料生産販売



(株)丸元建設
代表取締役社長 糸数 幸恵氏

【会社概要】

創業：1956年10月
設立：1970年5月
年商：15億円
資本金：1億円
社員数：29名
事業内容：建築・土木総合建設業



(有)大宮工機
代表取締役 宮城 光秀氏

【会社概要】

設立：1987年5月
年商：3億7,100万円
資本金：1,500万円
社員数：34名(役員4名含む)
事業内容：建設機械、濁水処理装置のレンタル

第 6 分科会 (小規模事業の実践報告)

テーマ 激動の時代に生き残る ひとり企業のビジネスモデル
～新たな視点で即行動 想いを形にする力～

【報告概要】

コロナ禍で厳しい経営環境が続いています。そんな状況の中で昨年9月に、ひとりで助産院を開業した伊佐氏。また、2006年にひとりで開業しホテル客室へのアロママッサージで展開していた黒岩氏も売上激減という事態に。しかし、伊佐氏はオンライン相談や出産後のママたちのリラックスプランなど新たなビジネスモデルを開始。黒岩氏も同友会会員のホテル一室を借り、予約型のアロマサービスをスタート。二人の共通点は、現場のニーズをいち早く捉え、すぐ実現するスピード感と実行力。予測できない時代を生き抜くヒントが見つかります。

報告者

アロマリライフ
代表者
黒岩 珠枝氏
(那覇支部北地区幹事・碧の会部長)



【会社概要】

設立：2006年6月
年商：1,000万円
資本金：300万円
社員数：6名(業務委託スタッフ)
事業内容：アロママッサージ、リラクゼーション業務、ホテル客室マッサージの請負業務など

【プロフィール】

出身地：宮城県石巻市
好きな言葉：利他の心
趣味：アロマ

報告者

助産院パピヨン
院長
伊佐 恵莉可氏



【会社概要】

設立：2020年9月
資本金：300万円
社員数：3名
事業内容：産前・産後サポートケア(訪問含む)、オンライン相談

【プロフィール】

出身地：沖縄市
好きな言葉：生きてるだけで百点満点
趣味：歌、三線、日本酒